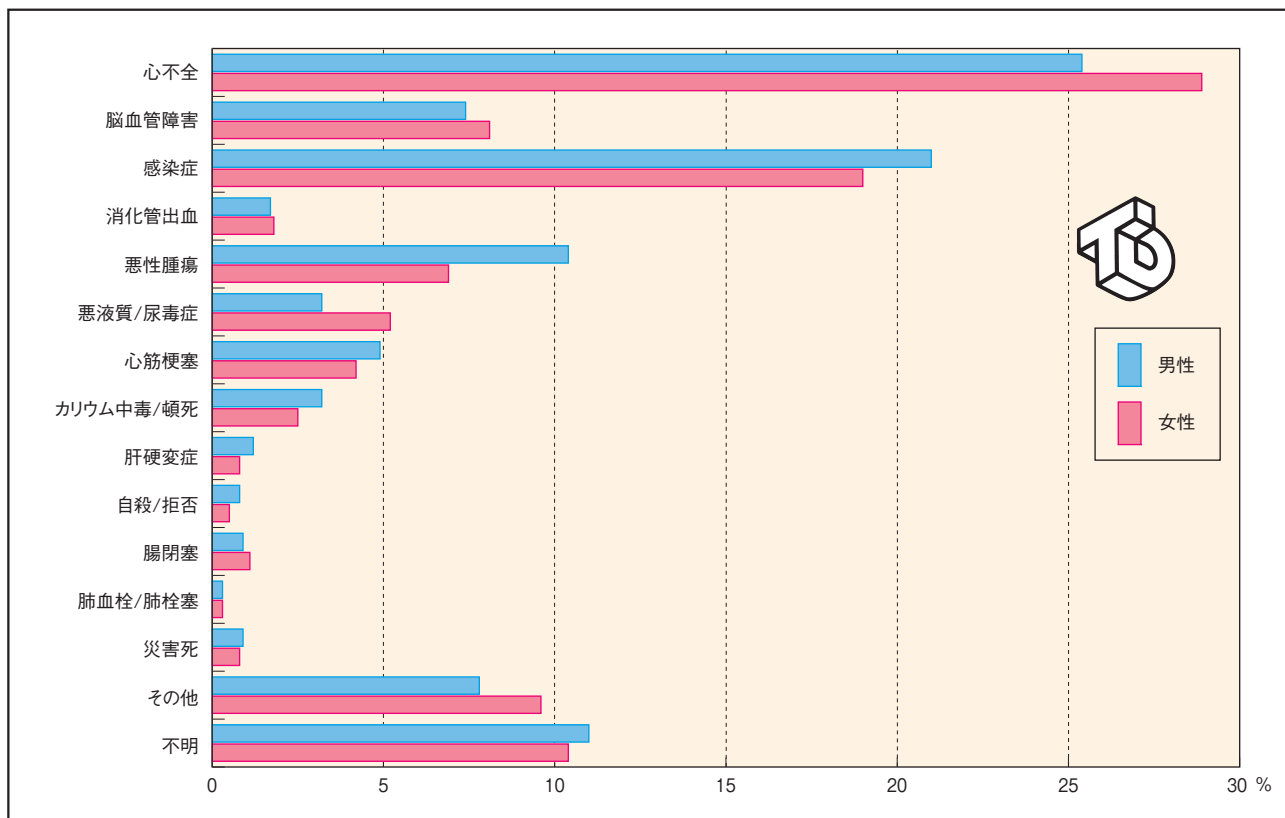


5) 死亡原因

(3) 2011年死亡患者の死亡原因分類 (図表18)



死因	男性	女性	合計	記載なし	総計	死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
心不全	4,677	2,987	7,664	0	7,664	自殺/拒否	154	50	204	0	204
(%)	(25.4)	(28.9)	(26.7)		(26.7)	(%)	(0.8)	(0.5)	(0.7)		(0.7)
脳血管障害	1,355	838	2,193	0	2,193	腸閉塞	163	118	281	0	281
(%)	(7.4)	(8.1)	(7.6)		(7.6)	(%)	(0.9)	(1.1)	(1.0)		(1.0)
感染症	3,865	1,962	5,827	0	5,827	肺血栓/肺栓塞	52	31	83	0	83
(%)	(21.0)	(19.0)	(20.3)		(20.3)	(%)	(0.3)	(0.3)	(0.3)		(0.3)
消化管出血	318	183	501	0	501	災害死	163	82	245	0	245
(%)	(1.7)	(1.8)	(1.7)		(1.7)	(%)	(0.9)	(0.8)	(0.9)		(0.9)
悪性腫瘍	1,906	716	2,622	0	2,622	その他	1,426	992	2,418	0	2,418
(%)	(10.4)	(6.9)	(9.1)		(9.1)	(%)	(7.8)	(9.6)	(8.4)		(8.4)
悪液質/尿毒症	594	533	1,127	0	1,127	不明	2,016	1,071	3,087	0	3,087
(%)	(3.2)	(5.2)	(3.9)		(3.9)	(%)	(11.0)	(10.4)	(10.7)		(10.7)
心筋梗塞	906	429	1,335	0	1,335	合計	18,394	10,336	28,730	0	28,730
(%)	(4.9)	(4.2)	(4.6)		(4.6)	(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)		(100.0)
カリウム中毒/頓死	582	261	843	0	843	記載なし	26	12	38	0	38
(%)	(3.2)	(2.5)	(2.9)		(2.9)	総計	18,420	10,348	28,768	0	28,768
肝硬変症	217	83	300	0	300						
(%)	(1.2)	(0.8)	(1.0)		(1.0)						

患者調査による集計

数値下のかっこ内は列方向の合計に対する%です。

解説

年間の死亡者数は透析患者の増加とともに経年的に増加している。2011年では、施設調査(シートI)で30,831の死亡が報告されている。うち患者調査(シートII~IV)に記載されている死亡患者は28,768人であり、2010年と比べ1,527人増加した。患者調査表に死亡原因と性別が記載された28,730人で検討すると、男性では心不全(25.4%)、感染症(21.0%)、悪性腫瘍(10.4%)、脳血管障害(7.4%)の順であった。女性では心不全(28.9%)、感染症(19.0%)、脳血管障害(8.1%)、悪性腫瘍(6.9%)の順であった。全体では心不全(26.7%)、感染症(20.3%)、悪性腫瘍(9.1%)、脳血管障害(7.6%)の順であった。心不全、脳血管障害、心筋梗塞などの心・血管障害で死亡する割合は、女性で41.2%であり、2010年の割合よりは0.8%減少し、男性では37.7%であり、2010年より1.0%減少した。全体では38.9%と2010年と比較して0.9%減少した。導入患者の心・血管死亡の傾向とは一致しない結果である。